

河内長野市が組織機構改革を実施

～職務責任の明確化・チェック体制の強化とわがまちの魅力アップをめざし～

河内長野市（芝田啓治市長）は4月1日、職務責任の明確化及びチェック体制の強化と、市制60周年にあたりわがまちの魅力アップをめざして、組織機構改革を実施する。

8年前（平成18年4月）に課長をグループ長とするグループ制を導入した際に廃止した係を復活。課長補佐や係長の役職を設けることで、職務責任を明確にするとともに、課長一人に集中していたチェック機能を二重、三重に強化する。

また、市制60周年を迎えるにあたり、高齢者が元気に活躍できる健康長寿社会をめざす「いきいき高齢課」や子育てにやさしいまちをめざす「子ども子育て課」、都市戦略の企画立案や市のイメージアップをめざす「都市魅力戦略課」、魅力ある観光地の形成を推進する「観光政策課」、産業振興を促進する「産業政策課」、市有財産の効率的な維持管理をめざす「資産活用課」などを新設。芝田市長が基本的政策として掲げる7つのK（危機管理・協働・教育・経済・環境・健康・観光）政策や行財政改革のより一層の推進を図ることで、わがまち河内長野の魅力アップに取り組む。

<お問い合わせ>

河内長野市 総務部 行政改革課 電話53-1111